

「恐竜の再生」についての探究プロジェクト

～グループによる英語プレゼンテーション～

高校 1年 英語コミュニケーション I
Lesson 6
“Could We Have a Real Jurassic Park?”
資料の活用

ねらい

- 「恐竜の再生」から派生するリサーチクエストについて、様々な情報・研究結果・参考資料等を総合的に考察して、答えを導き出す。
- グループによるプレゼンテーションの活動で、スライドを用いて Delivery (伝え方: Eye Contact 等)を意識しながら、伝える。
- 聞き手は、即興的にプレゼンテーションについて英語で質問する。

学習展開

- ① 生徒は、「恐竜の再生」から派生するリサーチクエストを考え、担当教員が集約する。
- ② 生徒は、集約されたリサーチクエストから希望するテーマを選び、担当教員がグループを編成する。
- ③ 生徒は、司書から、資料の探し方や参考文献の記録の仕方についてガイダンスを受ける。
- ④ 生徒は、図書館で様々な資料等を総合的に分析・考察し、Google Slide とスクリプトを作成する。
- ⑤ 生徒は、図書館で、Chromebook を用いて2グループごとに相互に英語でプレゼンテーションを行い、聞き手は質問をする。プレゼンテーション終了後、Google Form を用いて相互評価・自己評価を行う。

グループ活動の様子



プレゼンテーションの様子



取り寄せた資料の一部



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、担当教員と内容・時間数等を事前に相談し、各テーマに必要な資料を準備する。
- 学校司書は、資料の探し方や参考文献の書き方などについてガイダンスを実施する。
- 学校司書は、教科担当教員とプレゼンテーションについて事前に打ち合わせを行い、設営や進行を補助し、記録を取る。
- 学校司書は、T2 (T3) として、グループごとのリサーチ活動を支援する。

★指導のポイント

- ◆ 生徒たち自身で考えたりサーチクエストについて、様々な資料を参考にして、正しい答えではなく、論理的に説得力のある内容をわかりやすく伝えるよう指導する。
- ◆ スライド作成は、キーワードのみを提示し、発表時に詳細を加えるように指導する。
- ◆ 参考文献はその都度記録し、スライドの最終ページに表記するよう指導する。

資料

『絶滅動物は甦らせるべきか?』(ブリット・レイ/著、双葉社、2020)、『恐竜再生』(ジャック・ホーナー/著、日経ナショナルジオグラフィック社、2010)、『恐竜の教科書』(ダレン・ナイシュほか/著、創元社、2019)など関連図書約100冊を県立図書館から借受。